

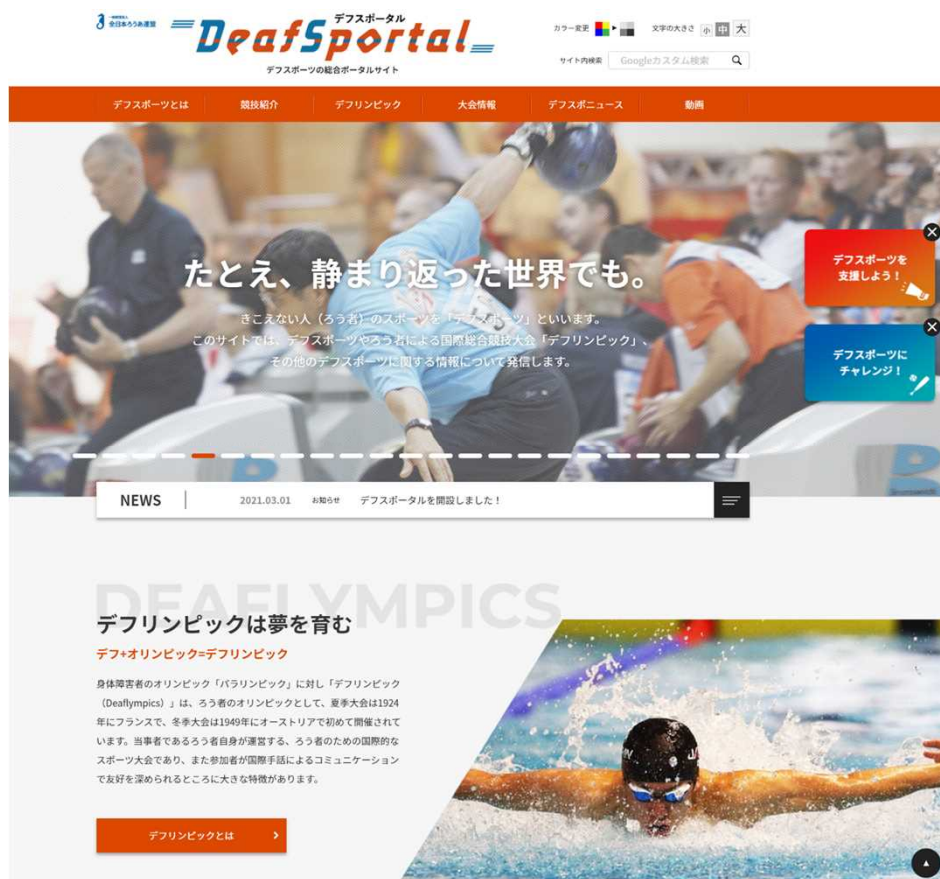
令和2年度

**「障害者スポーツ推進プロジェクト
(障害者スポーツ団体の連携及び体制整備への支援事業)」**

成果報告 概要

令和3年4月30日 一般財団法人全日本ろうあ連盟

①デフスポーツ団体連携推進（ポータルサイト）



競技団体・連盟スポーツ
委員会の情報共有サイト
(グループウェア)も作成
(関係者専用)



デフスポーツの総合ポータルサイト

- ・デフスポーツの情報を集約し可視化
- ・デフスポーツの知名度の向上
- ・デフリンピックの啓発
- ・一般のスポーツ団体との連携
- ・競技団体との連携



<https://deafsportal.com/>

構成

- ・デフリンピック・デフスポーツの紹介、啓発
- ・競技・団体紹介
- ・各種大会、ニュース(注目の選手等)紹介
- ・動画コンテンツ(YouTubeとのリンク)

②ガバナンスコードによる体制強化

現状・課題

- 2020年度よりガバナンスコード開始
- デフスポーツ競技団体にも適用
- 団体の運営基盤が弱い

ヒアリング

- 専門家(弁護士)に監修を依頼
- 各団体の遵守状況・運営の確認
- 手話言語によるヒアリング(20団体)

研修

- 専門家による講習会(オンライン活用)
(手話言語通訳を付与、視覚的に配慮した講習)
- 講習会動画のアーカイブ配信

【課題の整理】 ⇒引き続きデフスポーツ団体を支援

- ・外部委員の選出に苦労
- ・理事のなり手の人材不足
- ・女性委員の不在
- ・専門家(弁護士・公認会計士等)やきこえる人との繋がり(手話言語通訳等)



③デフリンピック・ムーブメント会議



デフリンピック・ムーブメント推進

- ・2025デフリンピック日本招致及び2022年に開催される第24回夏季デフリンピック競技大会に向けて国民や仲間たちの関心を高める
- ・連盟デフリンピック準備室及びスポーツ委員会、推進マネージャーや推進委員による体制の構築
- ・全国手話言語市区長会等、関係団体との協働

【開催】2021年3月（オンライン実施）

【参加者】「デフリンピック・ムーブメント推進マネージャー」9名（連盟各ブロックに設置）
連盟加盟団体の体育部長・デフスポーツ競技団体担当者 合計45名

【内容】

- ・デフリンピック準備室会議の報告
- ・第24回夏季デフリンピック競技大会について
- ・連携体制について意見交換 等

⇒関係者が手話言語を用いて情報共有・意見交換ができたことは大変有意義だった。

＜課題＞コロナ禍が続く中でのNFとの連携、選手発掘⇒強化にどう繋げていくか

[報告Webサイト] <https://www.jfd.or.jp/2021/03/31/pid21797>